

# 平成30年4月 理数科学科 1クラス 開設

## めざす教育

科学に関して強い興味や関心を持ち、科学をはじめとする分野で様々な課題を見つけ、その解決に粘り強く立ち向かい、将来、徳島や日本の発展に貢献するチャレンジ精神の豊富な人間力の高い人材を育成します。

## 視点

人口が減少し、地方創生が国や県の課題となる現在、ふるさと徳島のよさを実感し、将来、地元で活躍したり、地元を応援していく人材が求められています。理数科学科は、そのようなたくましい理系人材を育成します。

特に、大学の知見を生かし、高校と大学の連携（高大連携）を強く押し進めた取組で推進を図ります。

## 特色

### ①理科や数学をじっくりと楽しく学べます。

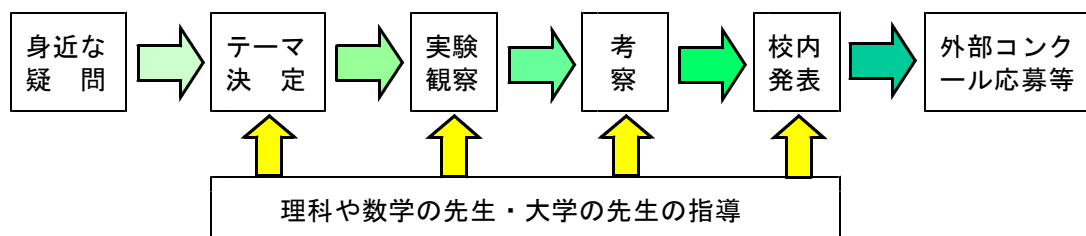
今の学習指導要領では以前より数学や理科の学習量が増えています。数学や理科に普通科よりも多い時間数をとる理数科学科では、まず時間的にじっくりと学ぶことができます。また城北高校ではアクティブ・ラーニング型授業を多く取り入れています。そこでは生徒が主体的に授業に参加をしていく中で、深い理解が得られます。さらに総合的な学習の時間の中で、大学の先生による出前授業等を行い、徳島の大学や企業の保有する高い技術力や最先端の科学研究の話題も紹介し、科学を楽しく学ぶ機会を作ります。

### ②新しい大学入試に対応しています。

今の中学校3年生の学年が大学入試を受ける年から、大学入試センター試験が変わります。数学や国語はマークシート方式に加えて一部が記述式に、英語は外部検定試験の活用が図られるようになります。こうした中で、今まで以上に「確かな学力」が求められます。城北高校ではアクティブ・ラーニング型授業を多く取り入れ、生徒の思考力や表現力を育成します。また、単位制であることを活用し、少人数で密度の高い授業を英語や数学を中心に開講します。

### ③科学的思考力を育成します。

これからの時代に必要とされる自ら課題を発見し、解決しようとする力、この力を理数科学科では、身近な疑問を科学的な手法で解決していこうとする「課題研究」で育成します。内容は、理科や数学、環境、防災、また例えば科学的視点から伝統産業である藍染めを研究するなど徳島にゆかりのあるテーマなど科学の幅広い分野を対象として取り組みます。この課題研究で学んだことが、大学に進学したときにも大いに役立ちます。



### ④将来を具体的に見通せるキャリア教育を推進します。

科学技術の進展の激しい今の社会で、自分は何に興味があるのか、何が向いているのかがなかなか見えてきません。理数科学科では総合的な学習の時間や課題研究で大学、企業等と連携し、大学で必要な力、社会で必要な力などを具体的に知ることができます。そのことが将来の目標を持つきっかけとなります。

## 教育課程

理数科学科3年間の教育課程 [こちら](#) → [リンク](#)

### 特徴

- ◇ 1週間あたり34時間授業（50分授業）、月から木まで1日7限、金は6限授業。  
本校普通科は1週間あたり33時間で、理数科学科が1時間多い。
- ◇ 普通科理系（本校）より、数学は3年間で2単位、理科は4単位多く学びます。
- ◇ 理科は、物理・化学・生物・地学の4科目（基礎科目）を学びます（理科を4科目すべて学ぶのは徳島県内唯一です）。そのうちの2科目を進路に備えて深く学びます。
- ◇ 英語・国語・地歴公民の時間数は、普通科理系（本校）と同等とし、理数教科を重視しつつ、教科全体のバランスも保つことで、国公立大学入試に最適な教育課程を組んでいます。
- ◇ 35年以上の伝統を持つ早朝補習（8時から8時30分）で、朝型の生活リズムをつけるとともに、授業の演習を行い、内容の理解を深めます。

## 高校入試

詳細は、教育委員会からの生徒募集要項や定員の発表により、夏から秋にかけて順次決まります。秋に行う学校説明会では、詳しく説明します（日程は7月中に本校HPで案内）。  
なお、理数科学科では特色選抜の募集はしません。全ての定員を一般選抜で募集します。